

ワケギの周年栽培に関する試験

第1報 品種と植付け期について

下原孫一・丸山竹男 (大分県農業技術センター)

SHIMOHARA, M. and T. MARUYAMA: Research on Year-Round Culture of *Allium fistulosum* L. (Caespitosum group)

1. Relationship between Cultivars and planting Time

ワケギの品種間には、生態的並びに形態的にかなり変異のあることが認められ、その特性が報告されている。そこで、品種の生態的特性から栽培時期別の適応品種を探索し、ワケギの周年栽培体系確立の資料とする目的で、品種と植付け期について検討したので、その結果を報告する。

試験方法

“宮崎”外11品種 (第1表) を供試し、5～9月の間毎月の下旬に植え付けた。栽植距離は、5, 6, 7月植えを15×10cm, 8, 9月植えを30×20cmとし、施肥量は窒素成分量がa当たり1.5～1.7kgとした。6, 7月植えは生育期間中黒寒冷紗を150cmの高さに水平に張り、9月植えについては12月17日以降、トンネル被覆区と露地区を設けた。種球の休眠打破として、BA 20 ppm 溶液に浸漬処理及び20日間の高温処理を行った。

結果及び考察

5, 6, 7月植え: いずれの品種も、生育期間が30日を過ぎると生育は緩慢となった。50日に達すると球形形成指数が2.5以上となり、引き続き倒伏、休眠状態に入ることが観察された。植付け30日後に葉数20枚前後、葉長30～40cmに達し、一株重も20～25gで、調整重の重かったのは“宮崎”“福岡”“吉井”及び“大山”であった。“石垣”“西表大原”は、いずれの植付け時期でも生育日数50日前後で倒伏した。

8月植え: 植付け後30日で葉数が30枚以上となった品種は、“小郡”“宮崎”及び“福岡”で、50日後には40枚以上に達した。一株重は、“小郡”及び“宮崎”が40g以上で特に重かった。50日後には全品種とも65g以上となり増加率 (30日後を基準) は100%を越えた。調整重は、“宮崎”> “小郡”> “稲沢”> “吉井”の順に重かった。球形形成指数は、植付け後30日と50日の間に変化が認められず、“石垣”“西表大原”及び“台湾早生”を除く他の品種は1.8以下であった。

9月植え: 植付け50日後の11月中旬までは、全品種とも生育がおう盛で、葉数、草丈ともに増加した。12月以後2月中旬までは、露地の状態では“木原早生”“寒不知”“西

表大原”“石垣”及び“台湾早生”以外の品種の生育は、むしろ減少傾向を示した。トンネル被覆を実施した区は全品種とも厳寒期にも生育が進み、その効果は2月の生育に大きく現れた。“木原早生”“寒不知”は、一株重が300g以上にも達し、その影響は顕著であった。3月になり再び生育はおう盛となり、特に葉数の増加が目立った。“吉井”“宮崎”“木原早生”“寒不知”及び“西表大原”は一株重が500g以上となった。3月におけるトンネル被覆は、球形形成指数の増加並びに抽だいを誘起し、“一の宮”> “大山”> “吉井”> “宮崎”の順に強く現れた。

以上、5, 6, 7月植えの夏採りは、比較的初期生育が順調で、高温、長日条件でも結球態勢への移行が緩慢な“宮崎”“福岡”が、8月植え秋採りは、初期より生育がおう盛で商品性にも富む“宮崎”“小郡”及び“稲沢”が優れると思われる。9月植え年内採りは、8月植え秋採りに準じ、冬期の1～2月採りは“木原早生”“寒不知”及び“西表大原”など露地状態でも生育の進行する品種を用い、トンネル被覆することにより商品性が向上する。春先の3月から4月に収穫する品種は、9月植えで葉色も濃く、草丈も適当で収量の高い“木原早生”及び“吉井”が適当と考えられる。

第1表 植付け時期別の生育

品種名	6月植え			8月植え			9月植え			
	葉数	一株重	球形形成指数	葉数	一株重	一株重				
						11月	1月	2月	2月(中)	
小郡	17.5	20.5	2.5	51.2	118	68.1	149	134	198	
宮崎	17.5	25.0	2.4	48.4	124	65.5	146	140	178	
福岡	23.0	25.0	3.0	40.0	88	49.3	110	116	234	
一の宮	21.5	23.5	3.0	29.7	86	50.1	102	126	224	
稲沢	12.5	16.0	3.3	38.4	109	49.6	87	134	222	
吉井	16.5	20.5	2.5	40.0	101	46.0	102	100	236	
大山	24.5	25.0	2.7	39.7	85	47.3	110	158	243	
木原早生	18.5	13.5	3.3	42.7	75	35.0	182	178	300	
寒不知	16.5	13.0	2.6	34.8	65	42.8	157	172	422	
石垣	21.5	20.5	3.3	36.5	68	35.6	133	165	246	
西表大原	14.0	14.0	3.3	38.6	78	50.6	115	186	256	
台湾早生	18.0	19.5	2.8	33.5	72	45.9	104	145	208	

注) 6月植えは植付け30日、8月植えは植付け50日後の生育
9月植えの11月、1月、2月の一株重は裸地区、2月(中)はトンネル区